

(様式第2号)

福祉サービス第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

有限会社アウルメディカルサービス

②施設・事業所情報

名称：就労継続支援A型事業所 しんくら		種別：就労継続支援(A型)
代表者氏名： 岡田 伸政		定員（利用人数）： 20（16）名
所在地：倉敷市新倉敷駅前3丁目73-3		
TEL：086-486-2181		ホームページ： http://ww41.tiki.ne.jp/~nozomi1201/
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 平成 25 年 9月 1日		
経営法人・設置主体（法人名等）： 特定非営利活動法人 のぞみ		
職員数	常勤職員： 8 名	非常勤職員 1 名
専門職員	管理者 1名	（生活支援員） 1名（常勤換算）
	サービス管理責任者 1名	職業指導員 6 名
	（医師：嘱託） 0名、（看護師） 0名	賃金向上達成委員会 1 名
施設・設備の概要	居室0室 （個室0室・2人部屋0室・4人部屋0室）	事務室、訓練作業室兼多目的室・相談スペース、鉄骨コンクリート造り 2階建の1階部分

③理念・基本方針

○理念

地域を愛する特定非営利活動法人のぞみは、ひとりひとりの豊かな生活の実現を目指します。

○基本方針

生命…健康管理・自己管理が出来る様に支援する
生活…日常生活の見守りの支援をする
社会…地域連携を図り 障がい福祉に寄与する

④施設・事業所の特徴的な取組

施設外就労中心の作業を行っています。倉庫内での飲料・食品の積み込みや配送作業、木材チップにする為の屋外での木の選別、工場内での金属の洗浄をしています。所内では、車の部品のバリ取りとペイント付け、ハーネスのゴム・コネクター付とテープ巻きの内職をしています。朝、健康チェックを行い、利用者さんの様子を確認し、その都度、個々にあった支援をしています。みんなで協力し合い、安心・安全で働け、次に繋がるよう支援しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 7 年 1 月 2 7 日（契約日） ～ 令和 7 年 3 月 3 1 日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2 回（ 令和 3 年度）

⑥総評

◇特に評価が高い点

昨年の9月より責任者が変わり、職場環境の改善に取り組んできた。職員が意見を言いやすい雰囲気作りに努めた結果、風通しが良くなったと言われ、管理者の自信にも繋がった。また、職員の離職率を下げるために、悩み相談や何かあればフォローできるようにしている。職員募集も積極的に行っており、ホームページ、ハローワーク、近隣のスーパーに貼り紙もしている。利用者の働き口を増やそうと、農福連携をしているブドウ農園の作業へ足を運んだ結果、新たな仕事へと繋がったことも評価が高い。利用者から夏には、かき氷が食べたいと要望が挙がり、事務所で振舞ったり、クリスマスには、サプライズケーキをプレゼントしたら喜んで頂けた。お菓子を渡す際には、メッセージを同封して、感謝の気持ちを述べている。2年間で3名が一般就労され、利用者のやる気向上にも繋がっている。

◇改善が求められる点

理念の掲示を目の触れやすい場所にも掲示して更なる周知に期待します。職員の個人目標を立てて、ベクトルを合わせたり、誕生日などのイベントの際に、利用者に何かサプライズをして喜んで頂いて、やる気を高められるように取り組んでみてはいかがでしょうか。些細なことでもヒヤリハットとして記録を残して、事故防止に努めて頂きたい。また、様式も見やすいように改良することが望ましい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

評価する過程で、事業所のあるべきかたち、気づきが出来、良かったと思います。評価（面談）していただく過程では、発想の転換、利用者に対して、悪いことからではなく、良いところを見つけて支援するよう心掛けていますが、実体験ができ、うれしい気持ちになりました。サプライズも含め、利用者、職員が喜ぶ、やる気を高められることに取り組みたいです。改めて、改善点に上げられた些細なこと、ヒヤリハットの洗い出し、様式を作成し、定期的に会議を設け、事故防止に努めたいと思います。

⑧第三者評価結果（別紙）

第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・(b)・c
<コメント> 法人の理念を事務所に提示していて、朝礼や会議で唱和している。新人職員は、見ながら唱和して、浸透できるように工夫している。利用者には、玄関先にファイルを置いて、いつでも閲覧できるようにしている。今後は、利用者にも見やすいように工夫する予定である。		

Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営を取り巻く環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・(b)・c
<コメント> 月1回の定例会議には役員も参加している。各担当者から報告をして、改善策や問題点を共有している。事業所内で共有しないといけない事案については、定例会議前に行っている。昨年より管理者が代わったこともあり、様々な角度から模索している最中である。		
	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a・(b)・c
<コメント> 勤務年数が短い職員へは、日々の利用者の様子から発言や意見を言える環境を作り、課題が克服できるようにしている。また、職員間でも情報を共有できるようにしている。何があったかを聞き取ることで、フォローしやすいようにしている。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。		a・(b)・c
<コメント> 単年度の目標は立てているが、課題や問題点に対して、改善に向けた対策を試行錯誤している最中である。来年度から新たな施設外就労を獲得し、今後のプランに盛り込む予定である。		
I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。		a・(b)・c
<コメント> 前年度を参考に目標を立てているが、希望的観測が少し入っていて、計画変更になる事が多い。また、単年計画は毎年作成している。		

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。		a・(b)・c
<コメント> 事業計画は、ミーティングにて意見交換をし、評価・見直しをしている。本部に出す事業所の意見がある場合には、会議の日を設けて、全職員に周知するようにしている。お店への貼り紙や新人職員への研修を今後予定している。また、新規施設外就労の受け入れ先を増やしたいと考えている。		
I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。		a・b・(c)
<コメント> 事業計画は、家族へは周知はしていないが、作業内容が変わる場合や利用者に関しては、事前に本人と個別面談をしている。問い合わせがあれば、随時説明をするようにしている。		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

	第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	
I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・(b)・c
<コメント> 事業所内では、随時ミーティングを開催して、情報共有をしている。定期的に第三者評価を受審して、気付きを得ている。	
I-4-(1)-② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・(b)・c
<コメント> ミーティングを通して、職員間で課題の確認をしている。個々にまとめて報告をして、改善できるところを共有している。今後の会議にて、職員間で情報を共有して、課題の検討をする予定である。	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	
Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	(a)・b・c
<コメント> 管理者になった際には、職位・職務内容一覧を確認した。改めて個々の仕事の内容を確認し、会議で周知できた。職務内容は、就業規則にも明記されている。	
Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	(a)・b・c
<コメント> 集団指導や研修に参加している。参加した後は、職員間で情報共有をしている。担当職員が参加しやすいように、シフトを調整している。虐待防止研修、サービス管理責任者の実務経験の研修に参加して学びを深めている。	

Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。		○a・b・c
<コメント> 日々の報連相を通して、法人の方向性を確認し、現状と課題を職員間で共有している。ハローワークや店舗へ出向いての貼り紙を行い、新規の就労受け入れ先を開拓できた。		
Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。		○a・b・c
<コメント> 自分の意見を通すのではなく、雑談の中での矛盾点や個々の提案に対し、耳を傾けて、個別に話を聞くようにしている。施設外就労がなくなった際には、職員全員で話し合っ、本人の希望に沿った支援を実施できた。		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。		○a・b・c
<コメント> 一緒に働く方との縁を大切にしている。新人職員には、コミュニケーション研修やストレス対処のセミナーに参加して学びを深めている。基本的な講習の実施や面談をして、不安を取り除けるように工夫している。また、介護福祉士の資格保有者も2名おられる。		
Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。		○a・b・c
<コメント> 定期的に管理者が個別面談を実施して、職員の個々の評価(良い所や課題の明確化)をしている。管理者は、理事長面談を実施している。管理者は勤務歴が長いので、何でも言える関係が築けている。本部と連携して、情報共有もできている。		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。		○a・b・c
<コメント> 家庭の事情や体調を把握して、働きやすい環境を整えている。年末年始の連休が長い方がいいとの案が挙がり、1週間の休みに繋がった。季節のイベントとして、クリスマスには、サブライズケーキを提供した。子育て世代の方へは、行事がある際には、気持ちよく行事に参加して頂けるように配慮している。		

Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。		a・ (b) ・c
<コメント> 何かあれば個別面談を実施している。利用者のケアに関すること、作業効率についての意見が挙がった際には、【まずは、やってみよう】の精神で取り組んでいる。管理者が代わり、本部からは雰囲気は良くなったとお褒めの言葉を頂いた。今後、個人目標を立てて、個人のやる気を高められるように計画している。		
Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。		a・ (b) ・c
<コメント> 年度初めに受講した方がよい研修を計画して、適正にあった職員に振り当てている。必要な研修や講習があれば、計画に追加している。職員から参加したい研修があるとの要望が挙がり、実際に参加するに至った。今年度は、職場対人技能トレーニング(JST)、就労支援アセスメント、発達障害者の定着支援、ストレス対処の研修に参加した。		
Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。		a・ (b) ・c
<コメント> 新任の職員については、本部や事業所での教育・研修を実施している。障害者福祉従事職員資料を活用している。理念や心構えについて、コミュニケーションについて、障害について、基礎知識について確認できた。職員の研修は、個々にあった研修に参加できるように促している。		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。		a・b・ (c)
<コメント> 実習専門指導員は配置しておらず、実習の受け入れは現在行っていない。		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

	第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	
Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	(a) ・b・c
<コメント> 法人のパンフレットはあり、ホームページの情報公開も行っている。SNSを活用して、随時タイムリーな情報を提供している。直近では、瀬戸内倉敷ツーデーマーチに参加した様子を公開した。事業所としても、パンフレットを作成して、求人活動と共に地域のスーパーに配布している。	

Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	○a・b・c
<コメント> 法人本部が主体となり、経営や運営の指導をしている。必要な書類があれば、適宜提出するようにしている。必要経費があれば、稟議書を提出している。	

Ⅱ-4 地域との交流と連携・地域貢献

	第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	
Ⅱ-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	○a・b・c
<コメント> 日々の挨拶は積極的に行っている。利用者が参加できるように地域の行事は貼り出している。必要に応じて、職員が付き添える体制も整えている。舞台演者の方は、今度舞台に出られる。ソーデーマーチ、おかやま障害者ワークフォーラムへの参加、ブドウ農作業が新規開拓された。法人内の他施設の児童がイベントの一環としてめだか堀いに来て、お礼の手紙を頂いた。	
Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・○b・c
<コメント> 支援学校と連携を図り、文化祭に参加できた。ボランティアの受け入れ実績はないが、管理者はボランティア活動を通じて、利用者の視野を広げたいと考えている。	
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	
Ⅱ-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・○b・c
<コメント> ハローワーク・相談事業所・就業生活支援センターと定期的に連絡を取ることで、情報共有を図っている。	
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	
Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a・○b・c
<コメント> 施設外就労を行い、企業の人材不足の解消をなくす事に協力している。また、就労部会やA型協議会にも参加して、最新の情報を得ている。	

Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等に基づく公益的な事業・活動が行われている。	a・ b ・c
<コメント> 来年度より、ブドウ農園の施設外就労が新たに加わった。また、法人内の他事業所が主催で行っている、アルミ缶収集にも協力している。	

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a ・b・c
<コメント> 利用者とのコミュニケーションの取り方の説明、虐待防止の研修を実施して、共通の理解を持つための取り組みをしている。何かあった際には、随時話を聞く場を設け、決して否定はしないように心掛けている。内部研修では、障害年金、合理的配慮の研修を実施して意欲を高めている。	
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a ・b・c
<コメント> 所内作業の利用者には、個々にロッカーを設置している。服の着替えが必要な方へは、個室で着替えられるようにしている。利用するにあたり誓約書にて同意している。SNSへ写真を掲載する場合には、本人や家族の許可を得ている。	
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	
Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a ・b・c
<コメント> 見学や実習の受け入れは積極的に行っている。施設外での作業がほとんどなので、動画を撮ったものを見ながら説明を行って、よりイメージしやすいように工夫している。また、法人パンフレットも一緒に配布している。年間で約20名の方が見学に来られた。	
Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更に当たり利用者等にわかりやすく説明している。	a ・b・c
<コメント> 契約書といった大切な書類は、口頭でも説明をしている。家族の方にも見て頂いて、わからないことがないかを一緒に確認している。一人で意思表示が困難な利用者については、相談支援員の同行をお願いしている。	

	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等に当たり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	(a)・b・c
<コメント> 相談支援員・ハローワーク・他の施設・事業所との連携して、情報共有を図っている。研修を通じて、交流が広がっている。		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	(a)・b・c
<コメント> 年1回、アンケート調査を実施していて、「大変よくして頂いています。」、「いつもありがとうございます。」、「担当職員ともコミュニケーションや連携が取れている。」との意見が挙がっている。夏には熱中症対策として、かき氷を提供し、冬にはクリスマスのイベントとしてサプライズケーキを提供したら喜んで頂けた。		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	(a)・b・c
<コメント> 職員や利用者からの日々の報告により、その日に解決出来ることはすぐに解決するようにしている。片方の意見だけでなく、双方から聞くようにしている。事業所内で解決出来ない事案については、本部に相談している。		
	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	(a)・b・c
<コメント> 相談室も設置されている。利用者が話やすい職員に話せるように環境を整えている。		
	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	(a)・b・c
<コメント> 月2回、利用者の反省会を開催していて、様々な意見を吸い上げている。また、担当職員や管理者には話やすい環境作りに努めている。出来る限り、利用者に寄り添って、要望が叶えられるようにしている。		

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。		a・(b)・c
<コメント> 何かあればその都度、確認するようにしている。1日の終了時の報告会にて、情報共有をしている。今後ヒヤリハットの様式を見直して、わかりやすいように工夫する予定である。		
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。		a・(b)・c
<コメント> 感染症の注意勧告は、利用者の見える所に掲示していて、予防できるように促している。感染症が出た場合には、作業場が一緒だった利用者に対して、朝の健康チェックや作業中の健康状態を確認している。		
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。		a・(b)・c
<コメント> 年1回火災訓練を実施して、近隣の公園まで避難できた。ハザードマップを事務所に掲示している。施設外先については、避難経路を周知している。随時、作業所には水分を持っていくので、それがいざという時の備蓄にも繋がっている。		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。		(a)・b・c
<コメント> 運営規定・就業規則・重要事項説明書に明記している。標準的な実施方法に基づいて確認をしている。わからないことがあれば、随時説明をしている。		
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。		(a)・b・c
<コメント> 職員会議やミーティング時に、支援について話合ったり、個別で話を聞いて見直したりしている。また、意見や提案も反映できるような仕組みを築いている。		

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-2-(2)-①	アセスメントに基づく個別支援計画を適切に策定している。	○a・b・c
<コメント> 6ヶ月に1回、モニタリング・アセスメントを実施して、個別支援計画を立案している。利用者一人ひとりの具体的なニーズが明示されている。計画作成時には、サービス管理責任者だけでなく、職員や支援員の意見も参考にしている。		
Ⅲ-2-(2)-②	定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。	○a・b・c
<コメント> 6ヶ月に1回、モニタリング・アセスメントを実施して、個別支援計画を立案している。何かあればその都度、見直しをする場を設けている。		
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	○a・b・c
<コメント> 作業日報や個人日誌は、パソコンに記載していて、職員の閲覧は可能である。必要があれば紙媒体で印刷をして、職員間で情報共有をしている。		
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	○a・b・c
<コメント> 個人情報については、本部で管理する物と事業所での管理する物がある。鍵のかかるロッカーにて保管し、必要に応じて開閉している。また、個人情報漏洩には細心の注意を払っている。利用時には「個人情報使用同意書」にて説明して、同意を得ている。		

評価対象Ⅳ 具体的なサービス内容

Ⅳ-1 利用者の尊重と権利擁護

		第三者評価結果
Ⅳ-1-(1) 自己決定の尊重		
Ⅳ-1-(1)-①	利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	○a・b・c
<コメント> 一人ひとりの個性を尊重し、意見を聞きながら対応している。事前に情報収集をして、利用者の個人ファイルに記載している。パソコンの使用を許可していて、タイピングが上手になった方もいる。地域での催し物がある場合には掲示し、参加を促している。		

IV-1-(2) 権利侵害の防止等		
IV-1-(2)-①	利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	○a・b・c
<コメント> 職員会議で、話し合っている。重要事項説明書にも相談窓口を明記している。何かあれば随時、話を聞く場を設けている。権利擁護についての研修や身体拘束等の適正化のための研修も実施している。定期的に委員会を開催して、情報共有をしている。		

IV-2 生活支援

		第三者評価結果
IV-2-(1) 支援の基本		
IV-2-(1)-①	利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	○a・b・c
<コメント> 必要に応じて、利用者と面談を実施している。希望があれば、面接会や見学にも同行している。場合によっては、家族や相談支援員と連携を図っている。		
IV-2-(1)-②	利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	○a・b・c
<コメント> 身振りや手振り、メモを渡して対応している。自分の意思を直接伝えられない方には、家族や相談支援員と連携して対応している。発語が少ない方へは、携帯電話やメモを活用して、意思疎通を図っている。		
IV-2-(1)-③	利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	○a・b・c
<コメント> 利用者の様子を見ての言葉掛けや必要に応じて、面談を実施している。得た情報は、職員間で共有している。		
IV-2-(1)-④	個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	○a・b・c
<コメント> 施設外作業は数ヶ所あり、本人の希望を聞いている。いつもと違う場所の施設外に行かないといけない場合には、シフト会議での案を持って確認し、了承を得ている。地域のイベント情報があつた際には、掲示するようにしている。		

IV-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。		Ⓐ・b・c
<コメント> 作業終了後には、15分程度の報告会を実施して、情報共有をしている。職員の受けた研修があれば、シフトを調整して、受講できるようにしている。		
IV-2-(2) 日常的な生活支援		
IV-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。		a・b・c
<コメント> 非該当		
IV-2-(3) 生活環境		
IV-1-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。		a・b・c
<コメント> 非該当		
IV-2-(4) 機能訓練・生活訓練		
IV-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。		a・b・c
<コメント> 非該当		
IV-2-(5) 健康管理・医療的な支援		
IV-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。		Ⓐ・b・c
<コメント> 朝の検温・健康チェックをしている。健康状態を確認して、作業ができないと判断した場合には、家族に連絡を取っている。場合によっては、病院への付き添いをすることもある。		

IV-1-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	○a・b・c
<コメント> 通院後のお薬手帳の確認をしている。適正に飲まれているかを確認している。事務室には、各指導員にお薬手帳の確認を促すように掲示されている。	
IV-2-(6) 社会参加、学習支援	
IV-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	○a・b・c
<コメント> 自動車運転免許資格の取得、その他の資格取得により社会参加への一助としている。利用者の希望に沿った勤務体制にしている。意欲的にパソコン検定に挑戦している利用者もいる。	
IV-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	
IV-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	○a・b・c
<コメント> 希望があれば、企業への見学に同行し、自立へ向けた支援をしている。見学の際には、待ち合わせ場所を最寄り駅にしたり、交通機関の利用を促したりしている。	
IV-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援	
IV-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	○a・b・c
<コメント> 自分の意思が上手く伝えられない利用者に対しては、必要に応じて、家族と連絡を取り、情報を共有している。ケア会議には、相談支援員の希望で、家族が同伴する場合もある。同伴して頂くことで、意見の相違を防げる。	

IV-3 発達支援

	第三者評価結果
IV-3-(1) 発達支援	
IV-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a・b・c
<コメント> 非該当	

IV-4 就労支援

		第三者評価結果
IV-4-(1) 就労支援		
IV-4-(1)-①	利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	○a・b・c
<コメント> 利用者一人ひとりの働く力や可能性を活かせるように、場合によっては配置転換をしている。働く意欲を存続するために就労支援も行って、新発見の場を提供している。配置転換した際に、社内から施設外に移って、戻って来た時には作業効率が上がり、スピードが増していた方、配置転換を繰り返したら、欠席が減った方もいる。また、計算が苦手だとわかり、電卓を使ったら計算ができるようになった事例もある。		
IV-4-(1)-②	利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	○a・b・c
<コメント> 利用者の特性に応じた配置を行い、取り組み方や意欲・要望をできる限り受け入れられるようにしている。特性や体調に応じて、作業内容を考えている。		
IV-4-(1)-③	職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	○a・b・c
<コメント> 就職前には、企業の同意を得て、体験・面接・見学に同行して、利用者の特徴を理解して頂いている。就職してから1ヶ月後、定期的に連絡や訪問をして、企業や本人から情報を得ている。管理者は新規事業所開拓のために、日々奮闘している。		